

平成 29 年 3 月 9 日
電気規格調査会

IEC TC123（仮称：電力流通設備のアセットマネジメント）の 国内審議団体引受けとその標準化委員会・国内委員会の設置について

1. IEC/TC123 設立までの経緯と概要

- ・平成 27 年 10 月に IEC/MSB（市場戦略評議会）にて武部委員（東京電力）を Project Leader として、「電力設備における戦略的アセットマネジメント手法」が調査・検討され、IEC ミンスク総会で白書として発行
- ・平成 28 年 1 月に日本としてメリットを享受できる国際標準化活動の場として、IEC/新 TC 設立を提案
- ・平成 28 年 10 月に第 157 回 SMB 会議にて新 TC（TC123）が承認され幹事国は日本に決定（仮称：電力流通設備のアセットマネジメント）
- ・議長：現在選定中
- ・幹事国：日本，国際幹事：東京電力 重次氏
- ・第 1 回 TC123 プレナリ会議：平成 29 年 10 月開催予定

2. 国内審議団体の引受け

電気学会に対して TC123 国内審議団体引受けの打診があり、電気規格調査会の規格役員会（1/25）で審議した結果、以下を条件に引受けを了承することとした。

- ・国内対応委員会の構成等については準備委員会にて固める
- ・海外出張旅費・会議費等の費用については、現在東電が受託中の経済産業省委託事業等を活用しコスト削減に努める。

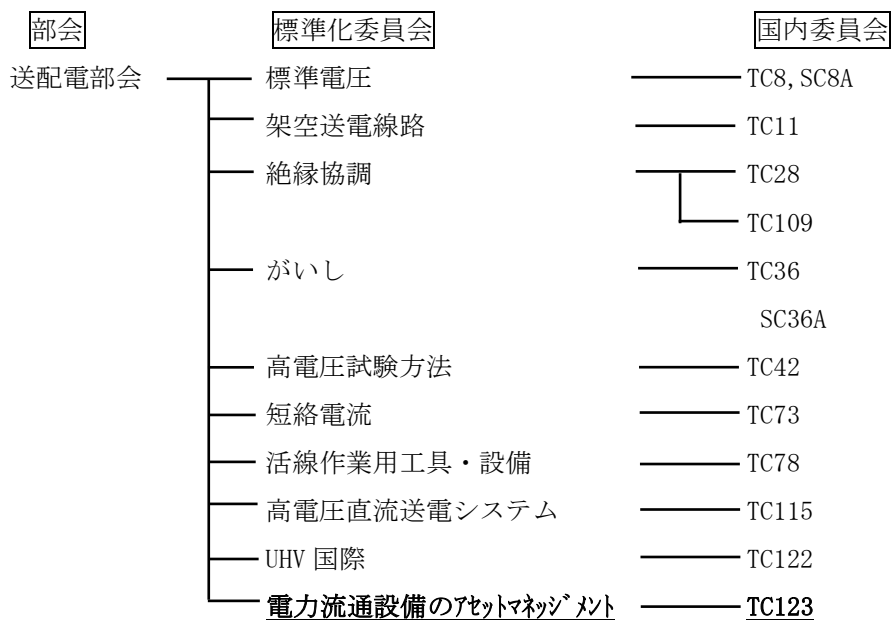
3. 電気規格調査会での組織構成

準備委員会（東電主催）との事前打ち合わせと、以下の状況を踏まえて、送配電部会の下に”電力流通設備のアセットマネジメント標準化委員会（IEC TC123 国内委員会を兼ねる）”を設けることとした。（規格役員会で承認済み）

- ① 新 TC の対象は当面流通設備である
- ② 送配電部会の範疇を超える個別機器等のアセットマネジメントについては、随時それぞれの部会・委員会と協調することで対応可能
- ③ 新 TC のスコープがまだ固まっていないことから、まずは関連性の強い送配

電部会のもとに置き，その後必要に応じ移設や，新部会の設置について検討する

④ 事前に各部会に意見照会したところ，反対意見は無かった



<国内委員会の体制>

国内委員長：東京大学 横山氏
国内副委員長：東京電力 小林氏
国内幹事：東京電力 高尾氏，加藤氏

4. 経済産業省への申請状況

別紙のとおり2月16日に申請し，2月22日に承認されている。

以上

平成 29 年 2 月 16 日

日本工業標準調査会
会長 友野 宏 殿

一般社団法人 電気学会
会長 田中 幸



IEC/TC 123 (電力流通設備のアセットマネジメント) の国内審議団体引受けについて (申請)

上記の件について、当学会が P メンバーとして引き受けたいので、申請いたします。
引受けが承認された場合は、ISO/IEC の諸規則及び ISO/IEC 事務処理要領 (国内審議団体等の手続き編) を遵守して業務を実施いたします。

添付資料： IEC/TC123 国内委員会運営規約 (案)
国内委員会 委員名簿案 (案)
一般社団法人 電気学会定款
著作権に係る取扱い同意書 (案)

29工調国電第2号
平成29年2月22日

一般社団法人電気学会
会長 田中 幸二 殿

日本工業標準調査会会長 友野 宏



IEC/TC123（電力流通設備のアセットマネジメント）の国内
審議団体引受けの承認について

平成29年2月16日付け申請のありました上記の件については、承認します。